

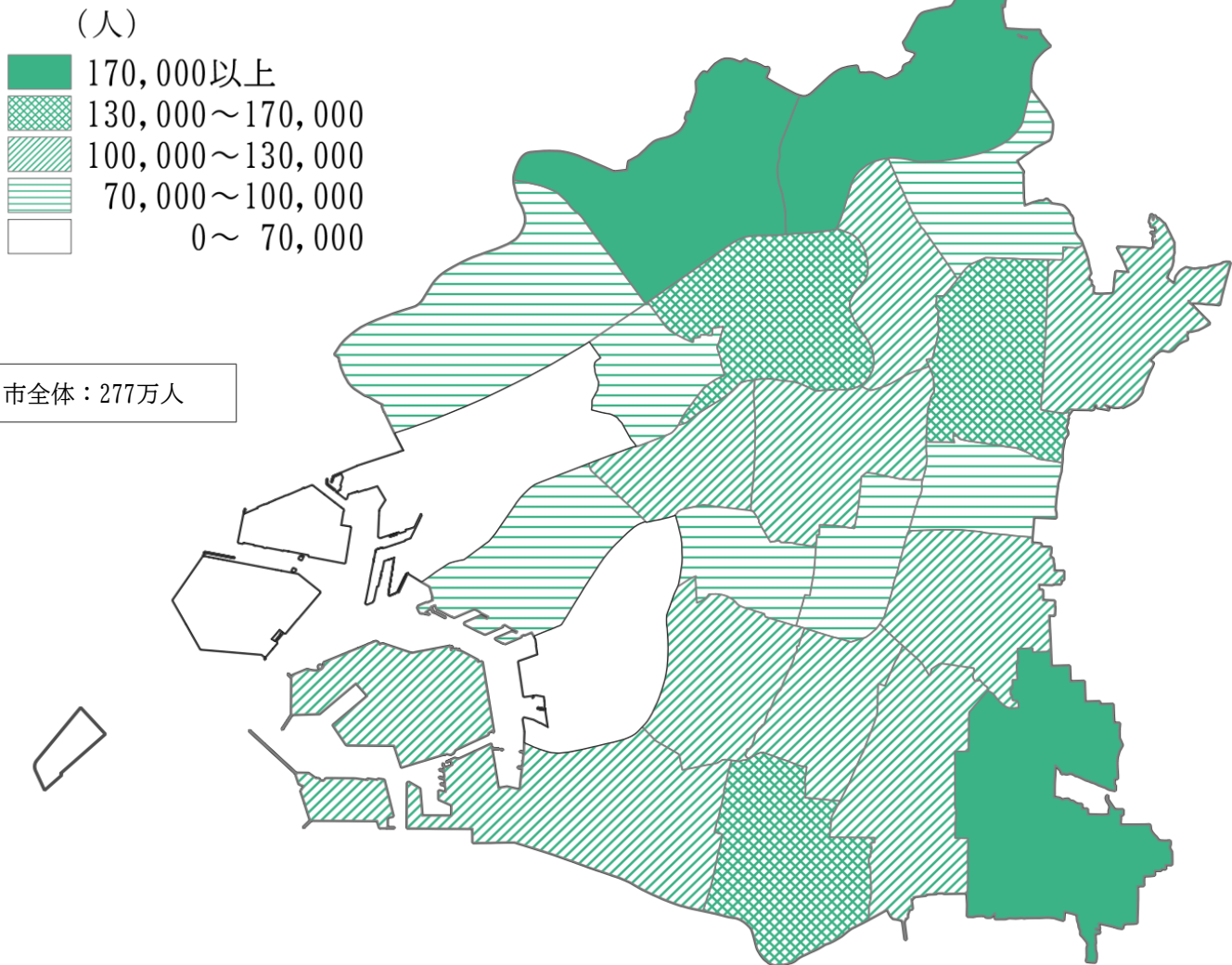
7-1. 区別人口【2023年】

市内人口を区別にみると、北東部（淀川区18.6万人、東淀川区17.6万人）や南東部（平野区18.7万人）など周辺部の区の人口が多くなっている一方、湾岸部（大正区5.9万人、此花区6.4万人）の人口は比較的少なくなっています。

区名	人口（人）
大阪市全体	2,770,520
北区	145,226
都島区	108,441
福島区	81,975
此花区	64,050
中央区	113,954
西区	110,780
港区	79,656
大正区	59,465
天王寺区	85,291
浪速区	81,855
西淀川区	95,865
淀川区	185,709

区名	人口（人）
東淀川区	176,134
東成区	85,871
生野区	126,789
旭区	89,200
城東区	167,409
鶴見区	111,533
阿倍野区	111,565
住之江区	117,159
住吉区	152,088
東住吉区	127,880
平野区	186,843
西成区	105,782

（注）2023年10月1日の数値。 （大阪市「2023年 推計人口・人口異動」）
各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



7-2. 区別人口増減

この10年間の市内人口の増減を区別に見ると、中心部の増加が顕著で、北区では2.8万人増、中央区でも2.8万人増、西区では2.3万人増となっています。中でも中央区の増加率は32.3%で市内最高となっています。

また、中心部に隣接する3区（浪速区、天王寺区、福島区）の増加率も高く浪速区で23.5%、天王寺区で15.9%、福島区で15.0%となっています。一方、南部や臨海部等の11区で人口は減少しており、大正区の減少率は10%を超えています。

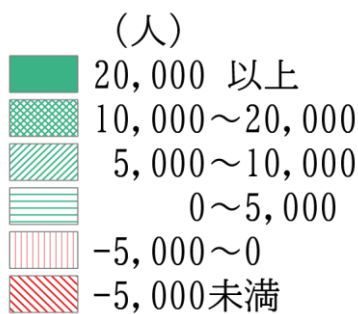
(単位:人、%)

区名	2013年	2023年	2013年-2023年	増減率
大阪市全体	2,678,663	2,770,520	91,857	3.4
北区	117,502	145,226	27,724	23.6
都島区	104,358	108,441	4,083	3.9
福島区	71,259	81,975	10,716	15.0
此花区	66,609	64,050	-2,559	-3.8
中央区	86,141	113,954	27,813	32.3
西区	87,645	110,780	23,135	26.4
港区	82,785	79,656	-3,129	-3.8
大正区	66,769	59,465	-7,304	-10.9
天王寺区	73,561	85,291	11,730	15.9
浪速区	66,273	81,855	15,582	23.5
西淀川区	96,417	95,865	-552	-0.6
淀川区	174,401	185,709	11,308	6.5
東淀川区	176,657	176,134	-523	-0.3
東成区	80,538	85,871	5,333	6.6
生野区	131,506	126,789	-4,717	-3.6
旭区	91,826	89,200	-2,626	-2.9
城東区	164,200	167,409	3,209	2.0
鶴見区	111,286	111,533	247	0.2
阿倍野区	106,754	111,565	4,811	4.5
住之江区	125,029	117,159	-7,870	-6.3
住吉区	154,696	152,088	-2,608	-1.7
東住吉区	127,740	127,880	140	0.1
平野区	198,384	186,843	-11,541	-5.8
西成区	116,327	105,782	-10,545	-9.1

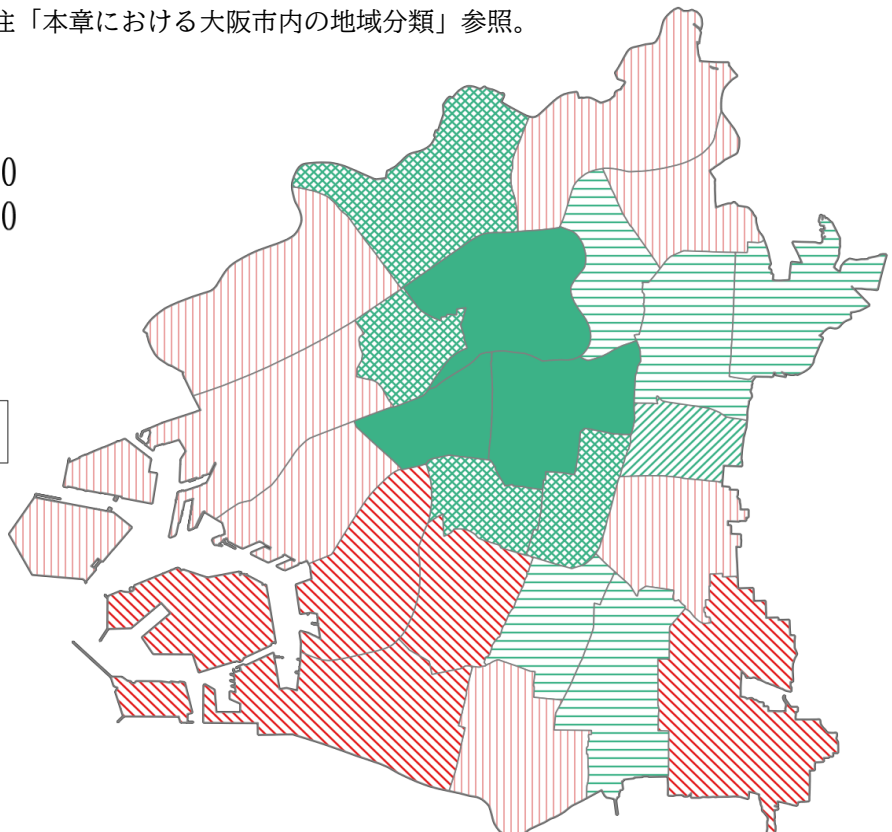
(注)各年10月1日の数値。

(大阪市「2023年 推計人口・人口異動」「2013年 修正推計人口」)

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



市全体：9.1万人増



7-3. 区別人口密度【2023年】

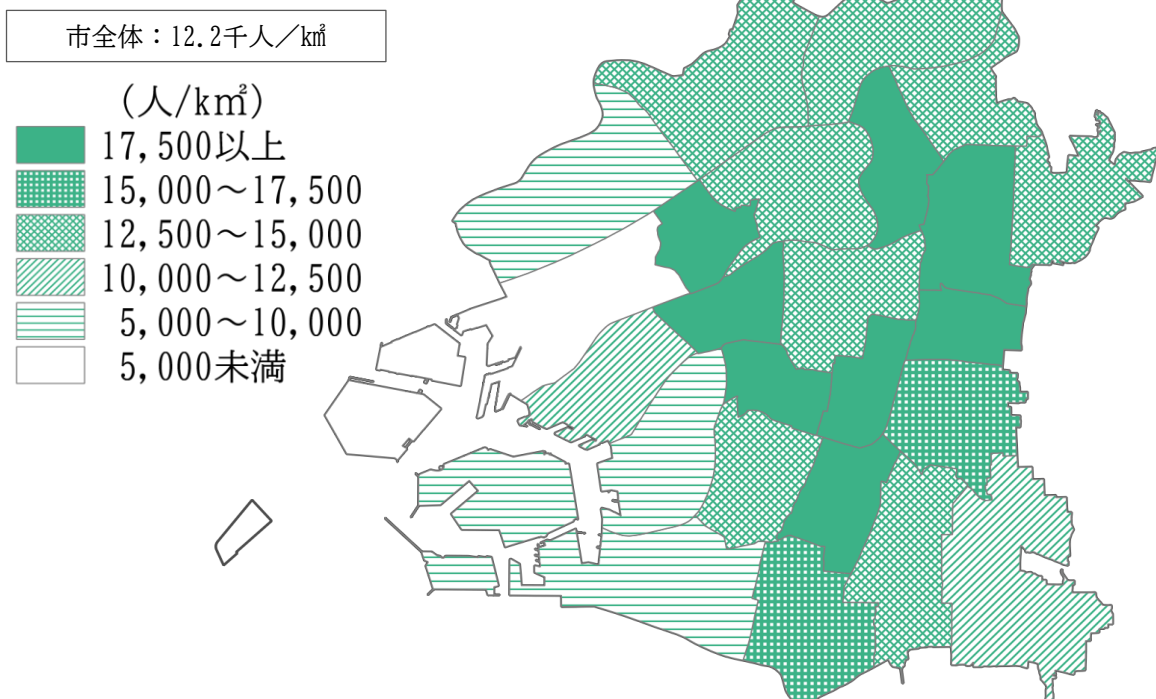
人口密度を区別にみると、都心隣接区の人口密度が高く、1km²当りで西区21.3千人、城東区20.0千人、東成区18.9千人、阿倍野区18.7千人、浪速区18.6千人となっています。一方、臨海部の人口密度は低く、1km²当りで此花区3.3千人、住之江区5.7千人、大正区6.3千人、西淀川区6.7千人となっています。

区名	人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (1 km ² 当り)
大阪市全体	2,770,520	225.33	12,295
北区	145,226	10.34	14,045
都島区	108,441	6.08	17,836
福島区	81,975	4.67	17,554
此花区	64,050	19.30	3,319
中央区	113,954	8.87	12,847
西区	110,780	5.21	21,263
港区	79,656	7.86	10,134
大正区	59,465	9.43	6,306
天王寺区	85,291	4.84	17,622
浪速区	81,855	4.39	18,646
西淀川区	95,865	14.21	6,746
淀川区	185,709	12.64	14,692
東淀川区	176,134	13.27	13,273
東成区	85,871	4.54	18,914
生野区	126,789	8.37	15,148
旭区	89,200	6.32	14,114
城東区	167,409	8.38	19,977
鶴見区	111,533	8.17	13,652
阿倍野区	111,565	5.98	18,656
住之江区	117,159	20.68	5,665
住吉区	152,088	9.40	16,180
東住吉区	127,880	9.75	13,116
平野区	186,843	15.28	12,228
西成区	105,782	7.37	14,353

(注)2023年10月1日の数値。

(大阪市「2023年 推計人口・人口異動」)

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



7-4. 区別昼夜間人口比率【2020年】

就業者が集中する都心部の昼間人口は多く、昼夜間人口比率は中央区は500%超、北区では350%となっています。また、商業・サービス業エリアである西区、天王寺区の昼夜間人口比率は150%を超えています。一方、東部は住宅エリアで昼間人口よりも夜間人口が多く、城東区、鶴見区では84%未満です。

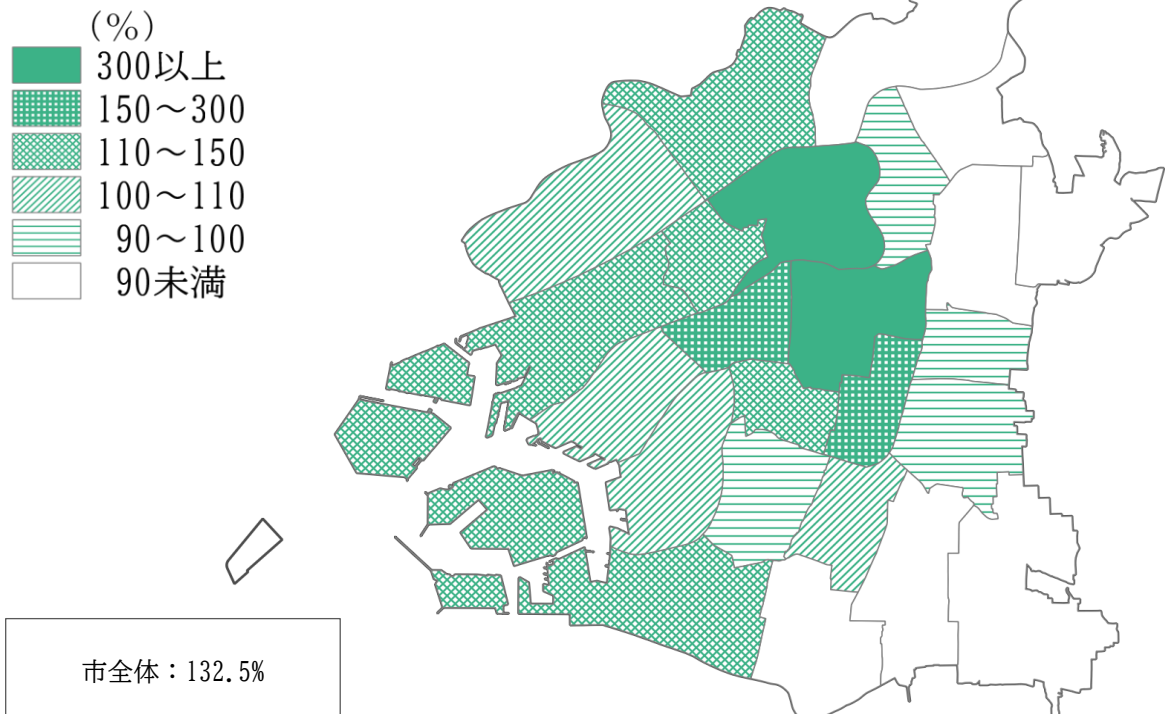
(単位:人、%)

区名	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率
大阪市全体	3,645,921	2,752,412	132.5
北区	487,123	139,376	349.5
都島区	99,917	107,904	92.6
福島区	91,393	79,328	115.2
此花区	86,518	65,251	132.6
中央区	535,834	103,726	516.6
西区	190,260	105,862	179.7
港区	83,295	80,948	102.9
大正区	65,287	62,083	105.2
天王寺区	126,423	82,148	153.9
浪速区	103,633	75,504	137.3
西淀川区	99,274	95,864	103.6
淀川区	228,358	183,444	124.5
東淀川区	158,036	177,120	89.2
東成区	76,482	84,906	90.1
生野区	117,253	127,309	92.1
旭区	78,842	89,670	87.9
城東区	141,717	169,043	83.8
鶴見区	94,103	112,691	83.5
阿倍野区	119,223	110,995	107.4
住之江区	144,533	120,072	120.4
住吉区	134,308	153,056	87.8
東住吉区	109,278	127,849	85.5
平野区	170,668	192,152	88.8
西成区	104,163	106,111	98.2

(総務省「2020年国勢調査」)

(注)昼夜間人口比率＝昼間人口／夜間人口。2020年10月1日の数値。

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



7-5. 区別民営事業所数・従業者数【2021年】

事業所数を区別にみると、中央区(3.2万ヵ所)と北区(2.8万ヵ所)の合計で、市内の3分の1(6万ヵ所)を占めています。次いで、淀川区(1.2万ヵ所)、西区(1.1万ヵ所)が多くなっています。

従業者数を区別にみると、中央区(52.3万人)と北区(48.4万人)の合計で市内の4割以上(101万人)を占めています。次いで西区(16.3万人)、淀川区(16万人)が多くなっています。

区別の事業所数 (単位: ヵ所、%)

区名	事業所数	構成比
大阪市	177,184	100.0
北区	27,534	15.5
都島区	4,697	2.7
福島区	4,798	2.7
此花区	2,641	1.5
中央区	32,046	18.1
西区	11,368	6.4
港区	3,741	2.1
大正区	2,991	1.7
天王寺区	5,774	3.3
浪速区	5,224	2.9
西淀川区	4,015	2.3
淀川区	11,928	6.7
東淀川区	5,446	3.1
東成区	4,643	2.6
生野区	6,586	3.7
旭区	3,139	1.8
城東区	5,092	2.9
鶴見区	3,648	2.1
阿倍野区	5,347	3.0
住之江区	4,804	2.7
住吉区	4,818	2.7
東住吉区	5,389	3.0
平野区	7,305	4.1
西成区	4,210	2.4

区別の従業者数 (単位: 人、%)

区名	従業者数	構成比
大阪市	2,308,581	100.0
北区	483,501	20.9
都島区	45,997	2.0
福島区	59,396	2.6
此花区	47,534	2.1
中央区	522,692	22.6
西区	163,111	7.1
港区	42,662	1.8
大正区	29,595	1.3
天王寺区	61,010	2.6
浪速区	71,682	3.1
西淀川区	50,691	2.2
淀川区	159,904	6.9
東淀川区	53,302	2.3
東成区	40,950	1.8
生野区	45,504	2.0
旭区	25,874	1.1
城東区	50,058	2.2
鶴見区	37,748	1.6
阿倍野区	56,055	2.4
住之江区	71,996	3.1
住吉区	43,851	1.9
東住吉区	42,910	1.9
平野区	64,909	2.8
西成区	37,649	1.6

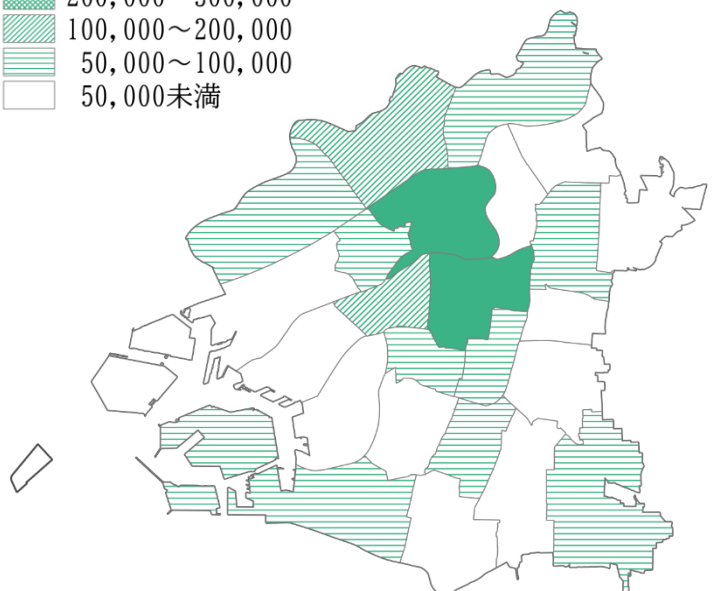
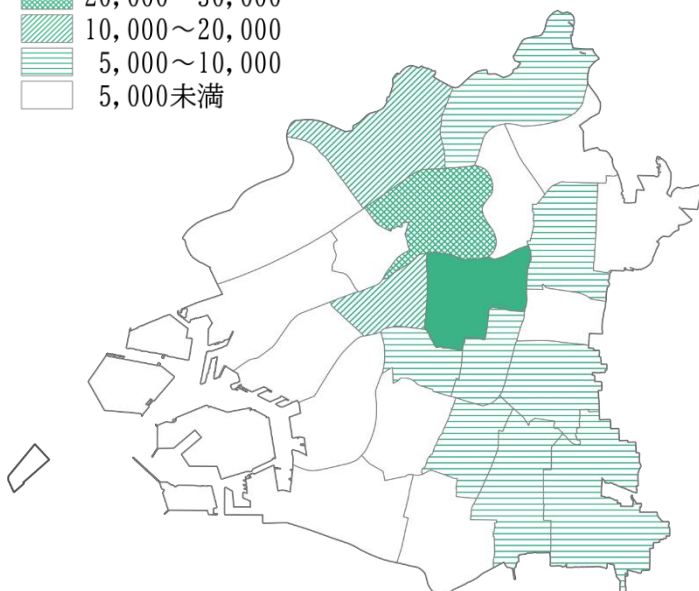
(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)

(注)各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

(事業所)

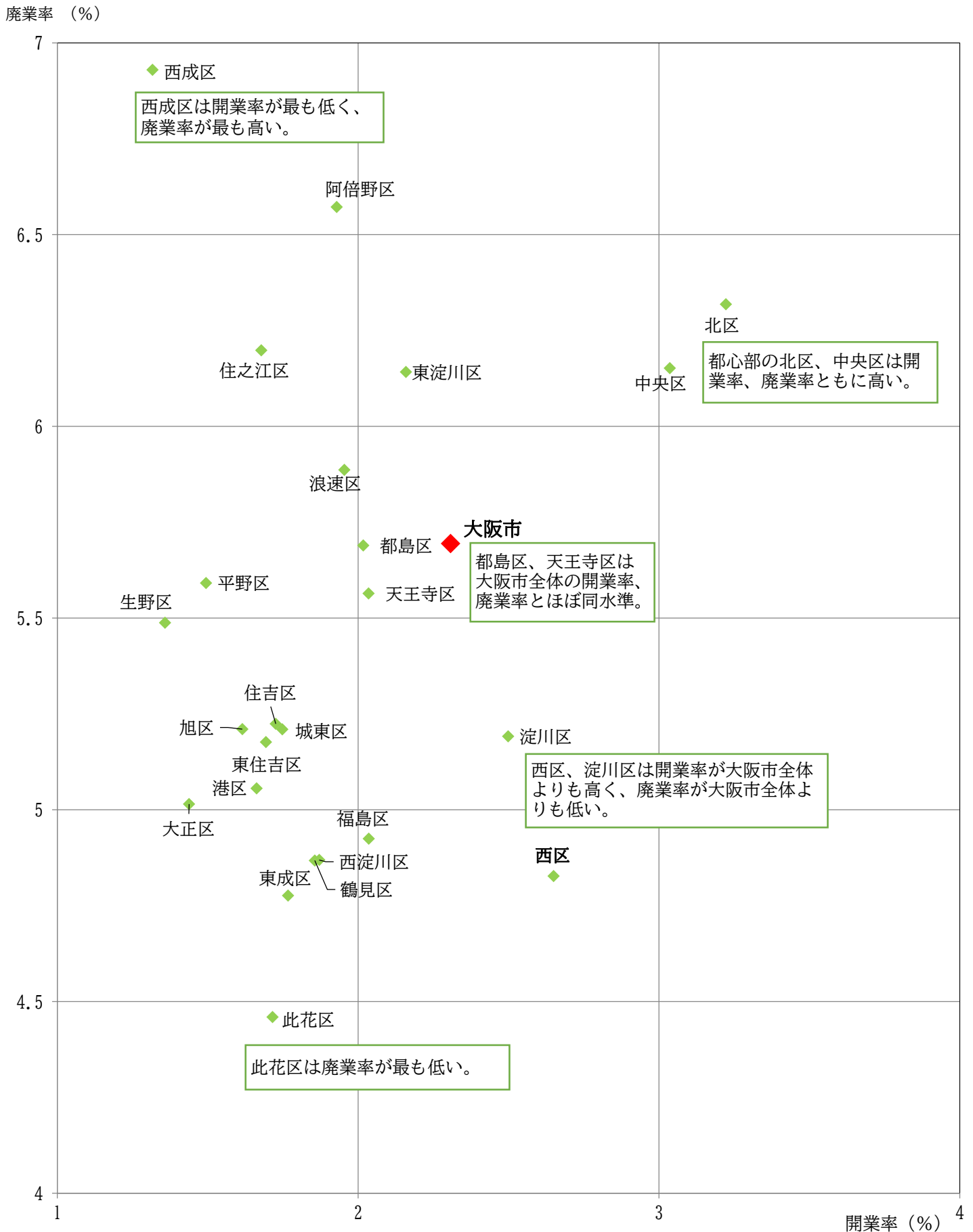


(人)



7-6. 区別事業所の開業率・廃業率

区別の年平均事業所廃業率・開業率（民間）（2016年～2021年）



（総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」をもとに算出）

（注）3-5と同じ。開業率などは全て年平均の値。

7-7. 区内総生産（名目）と産業別内訳【2021年度】

都心部の中央区、北区、西区及び淀川区の4区で市内総生産のおよそ75%を占めています。産業別構成を区別にみると、生野区、大正区、西淀川区、此花区では区内総生産のうち製造業が占める割合が高くなっており、それ以外の多くの区ではサービス業と卸・小売業が占める割合が高くなっています。

(単位:十億円)

区名	総生産	製造業	卸・小売業	サービス業	その他
大阪市	19,366	1,584	4,552	12,357	873
北区	5,516	161	1,314	3,836	204
都島区	185	14	29	127	14
福島区	390	18	168	184	20
此花区	305	150	30	114	10
中央区	6,230	132	1,455	4,370	273
西区	1,418	51	443	839	84
港区	218	40	27	134	17
大正区	174	91	21	54	8
天王寺区	296	17	50	220	10
浪速区	413	40	116	227	31
西淀川区	270	136	52	70	12
淀川区	1,320	144	369	741	65
東淀川区	219	60	39	109	11
東成区	156	45	57	47	7
生野区	152	80	26	41	5
旭区	81	11	17	48	5
城東区	331	48	32	237	14
鶴見区	157	64	36	46	12
阿倍野区	198	11	41	130	16
住之江区	706	110	87	494	15
住吉区	162	5	22	123	11
東住吉区	137	23	47	59	9
平野区	217	88	48	65	16
西成区	115	46	24	40	5

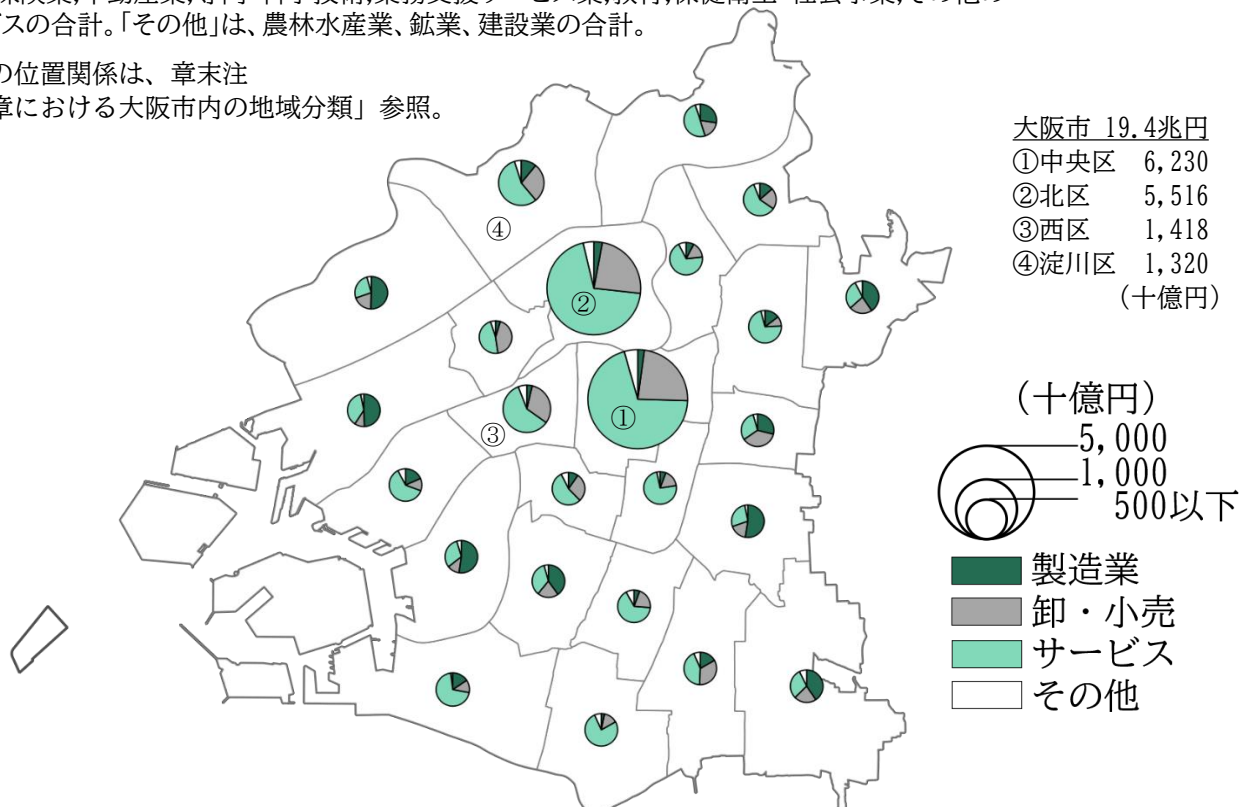
(大阪市「2021年度大阪市民経済計算」、総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」に基づき試算)

(注)公務を含まない“産業”のみの生産額。区別の数値は推計値。

「サービス業」は、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業、専門・科学技術、業務支援サービス業、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービスの合計。「その他」は、農林水産業、鉱業、建設業の合計。

各区の位置関係は、章末注

「本章における大阪市内の地域分類」参照。



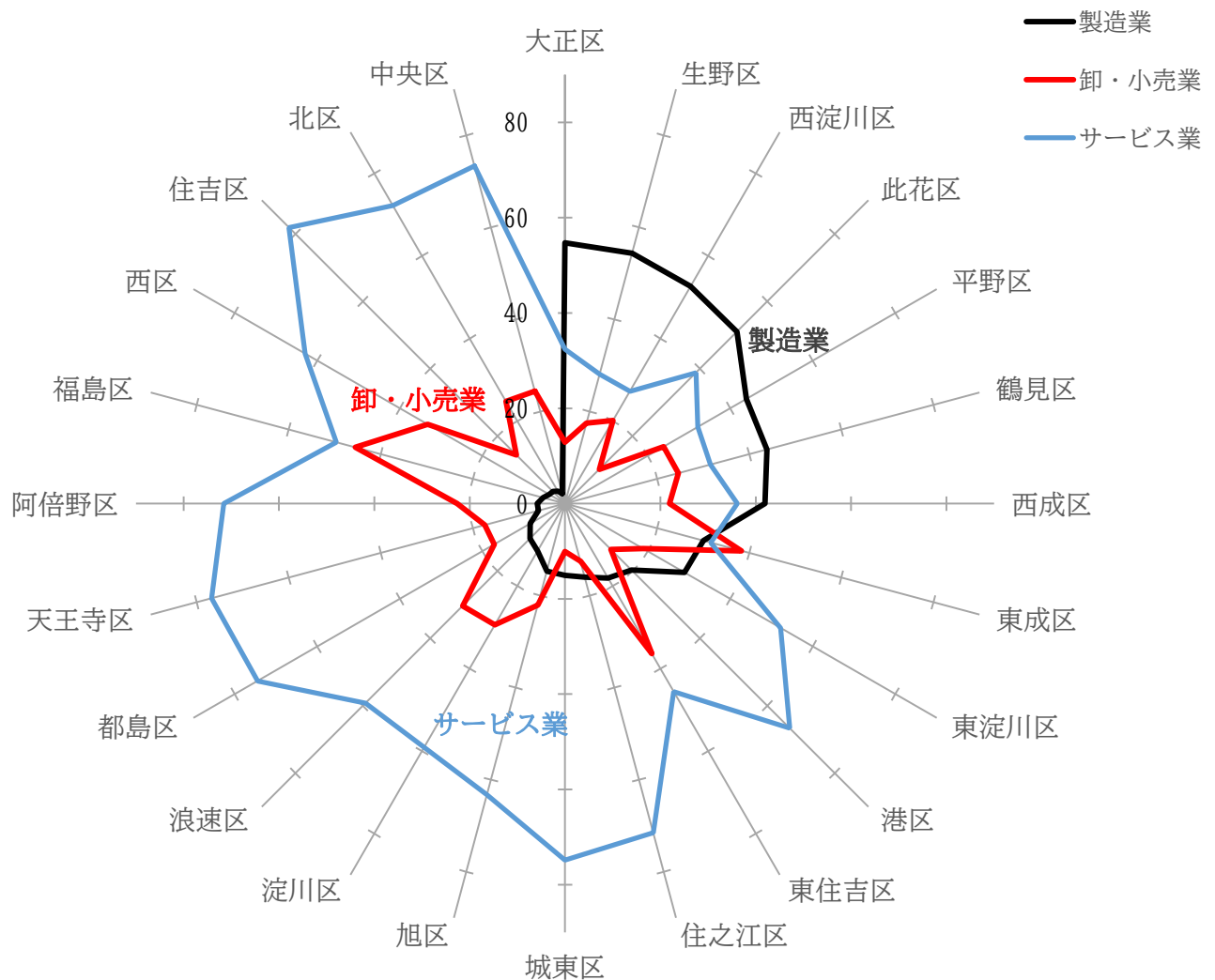
(参考) 区内総生産(名目)の主要産業別構成比

(単位:%)

区名	製造業	卸・小売業	サービス業	区名	製造業	卸・小売業	サービス業
大阪市	8.6	24.6	66.8	城東区	15.1	10.1	74.8
大正区	54.7	12.9	32.4	旭区	14.7	22.1	63.2
生野区	54.4	17.5	28.1	淀川区	11.5	29.4	59.1
西淀川区	52.7	20.1	27.2	浪速区	10.4	30.4	59.2
此花区	51.0	10.2	38.8	都島区	8.4	17.1	74.4
平野区	43.9	23.9	32.2	天王寺区	5.8	17.4	76.8
鶴見区	43.8	24.6	31.6	阿倍野区	5.8	22.6	71.6
西成区	41.9	21.9	36.1	福島区	4.8	45.5	49.7
東成区	30.1	38.3	31.6	西区	3.8	33.2	62.9
東淀川区	28.9	18.9	52.2	住吉区	3.6	14.5	81.9
港区	19.7	13.6	66.7	北区	3.0	24.7	72.2
東住吉区	18.1	36.4	45.6	中央区	2.2	24.4	73.4
住之江区	16.0	12.6	71.5				

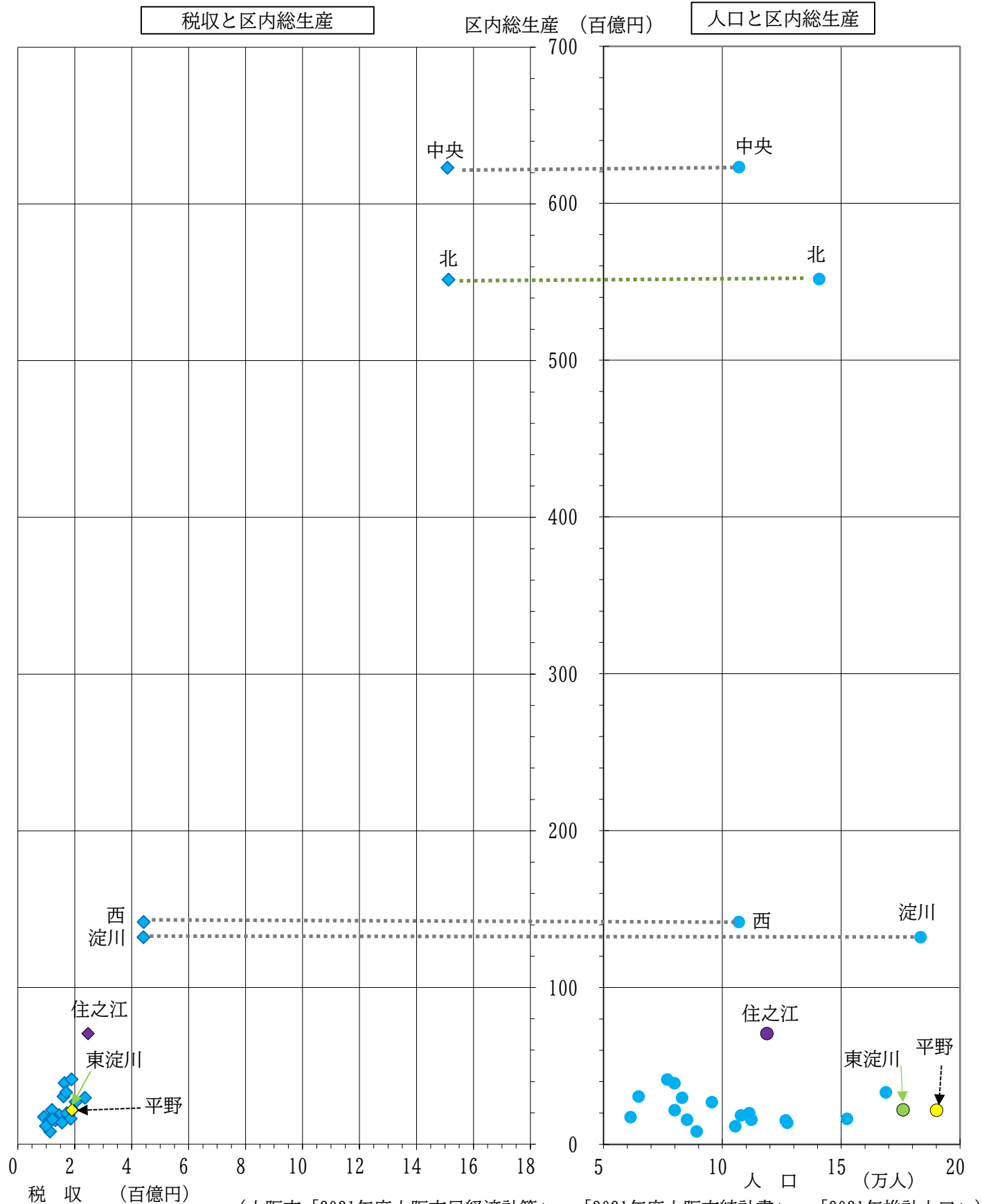
(大阪市「2021年度大阪市民経済計算」、総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」に基づき試算)

(注)資料ともに7-7と同様。ただし、“その他”の生産額を除いて割合を算出しているため、構成比は7-7とは異なる。また、十億円単位での割合でなく、実数から算出している。



7-8. 区内総生産(名目)と税収・人口【2021年度】

区内総生産や税収は、定住人口による消費支出や個人市民税よりも、事業所が生み出す付加価値や法人市民税など経済活動による影響が大きいと考えられます。



(大阪市「2021年度大阪市民経済計算」、「2021年度大阪市統計書」、「2021年推計人口」)

(注) 税収は過去の滞納分の徴税を除き、2021年度単独分のみの調定額。
(中央区で一括計上されている「たばこ税」を除く。)

区内総生産は「公務」を含まない「産業」のみの生産額であり、推計。
人口は2021年10月1日の数値。

7-9. 市税決算額と法人分・非法人分の内訳【2021年度】

市の税収に占める法人の割合は、昨年より0.7%減の49.6%となり、区別にみると、法人分の割合が非法人の割合を超える区は、都心部の中央区、北区、西区、浪速区に加えて、此花区や住之江区、大正区の臨海部を合わせて7区となり、昨年度と同数となっています。

(単位：億円)

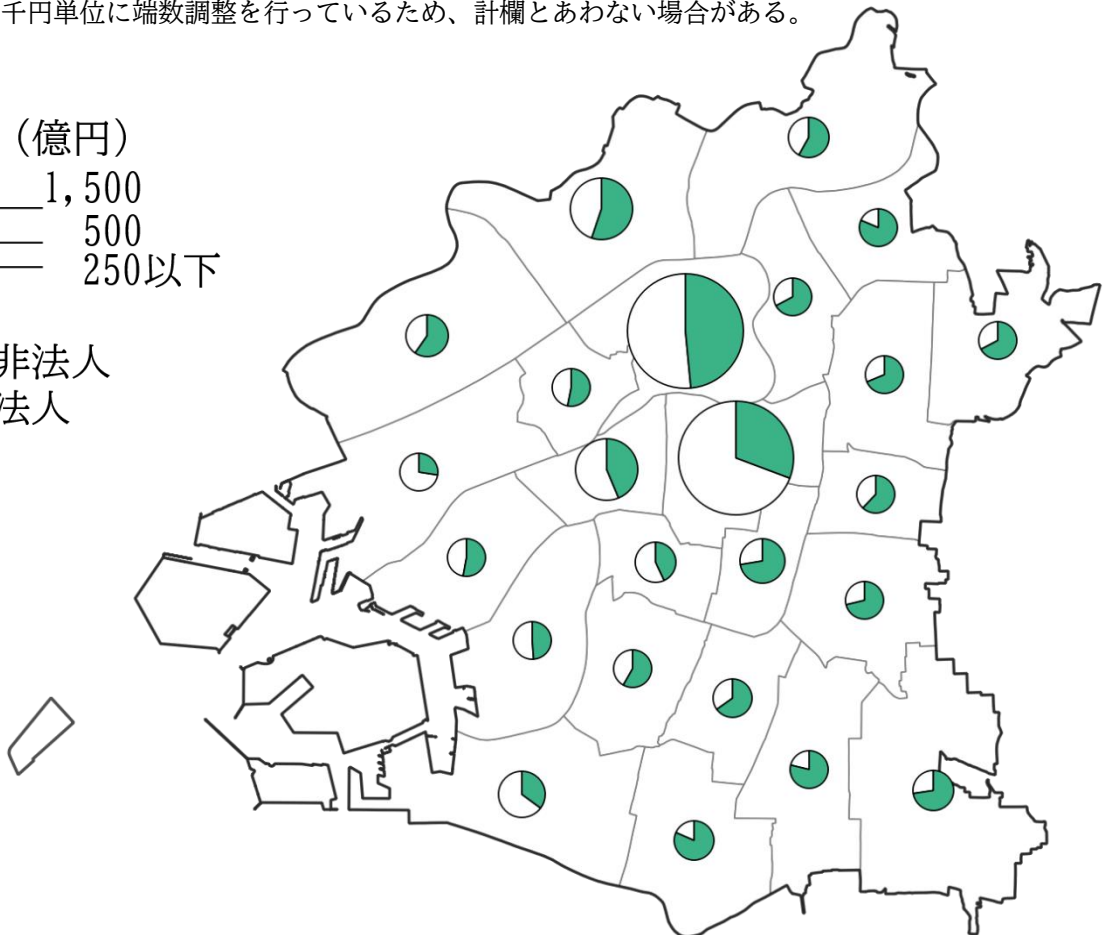
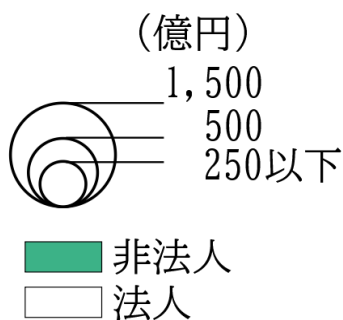
区名	市税決算額	法人分	非法人分	区名	市税決算額	法人分	非法人分
大阪市	7,103	3,527	3,576	東淀川区	193	81	112
北区	1,512	779	734	東成区	113	43	70
都島区	145	48	98	生野区	132	38	94
福島区	164	77	87	旭区	113	21	92
此花区	160	116	44	城東区	169	53	116
中央区	1,508	1,044	464	鶴見区	122	40	82
西区	442	248	193	阿倍野区	172	60	112
港区	120	57	64	住之江区	247	160	87
大正区	92	47	45	住吉区	185	34	151
天王寺区	236	65	170	東住吉区	155	33	123
浪速区	189	107	81	平野区	191	52	138
西淀川区	203	82	121	西成区	99	41	57
淀川区	441	198	243				

(大阪市「2021年度税務統計」「2022年版大阪市統計書」)

(注) 2020年度分の調定額。市税決算額〔法人分〕は、法人市民税、法人純固定資産税、法人都市計画税、事業所税の合算値。中央区で一括計上されている「たばこ税」は、いずれにも含めていない。

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

各区ごとに千円単位に端数調整を行っているため、計欄とあわない場合がある。



7-10. 製造業の区別事業所数・従業者数【2021年】

製造業は、事業所を区別にみると、中小規模工場が集積する東部（平野区、生野区など）で多くなっています。従業者数は、大規模工場が立地する淀川北岸部（淀川区、西淀川区）のほか、中央区、北区で多くなっています。

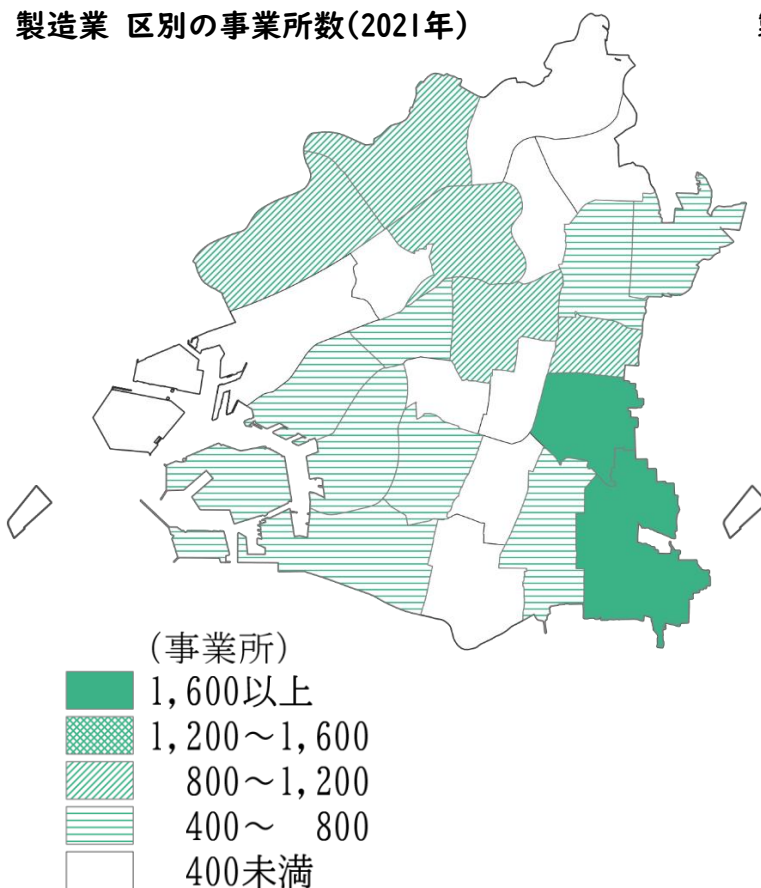
(単位:事業所、人)

区名	事業所	従業者数	区名	事業所	従業者数
大阪市	14,860	191,643	東淀川区	328	5,898
北区	805	16,544	東成区	921	8,458
都島区	332	2,522	生野区	1,621	13,072
福島区	330	3,230	旭区	263	2,599
此花区	237	8,835	城東区	718	7,377
中央区	1,087	17,744	鶴見区	494	6,884
西区	731	7,056	阿倍野区	238	2,506
港区	438	3,664	住之江区	403	9,300
大正区	429	6,468	住吉区	191	1,508
天王寺区	365	3,634	東住吉区	620	5,685
浪速区	289	6,299	平野区	1,636	16,292
西淀川区	926	15,606	西成区	484	5,273
淀川区	974	15,189			

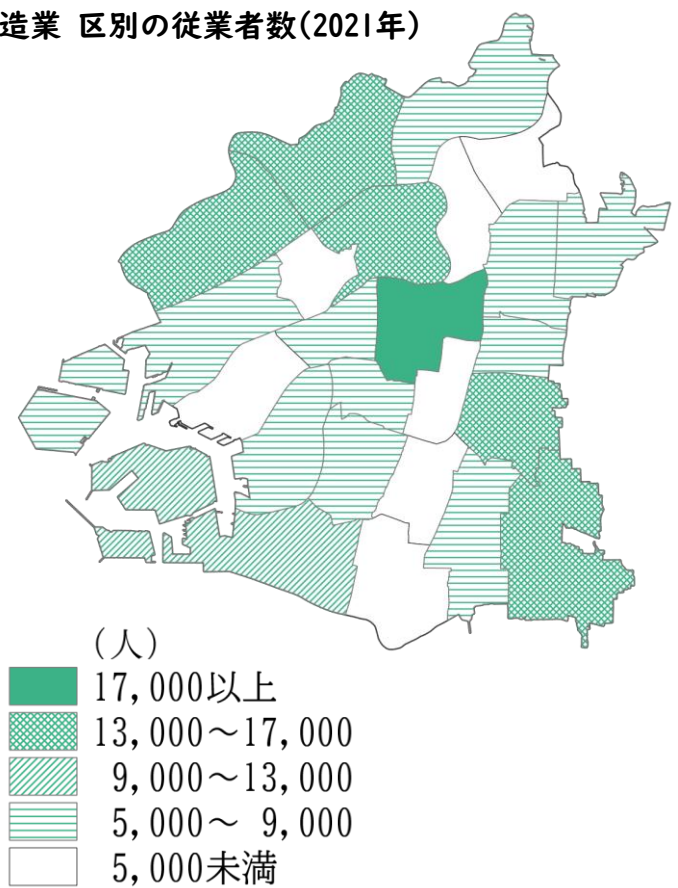
(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)

(注) 各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

製造業 区別の事業所数(2021年)



製造業 区別の従業者数(2021年)



7-11. 製造品出荷額等の金額及び分野別構成比【2020年】

(単位:億円)

(単位:%)

区名	基礎素材型	加工組立型	生活関連型	合計	基礎素材型	加工組立型	生活関連型
大阪市	17,860	8,973	7,409	34,242	52.2	26.2	21.6
北区	511	455	427	1,393	36.7	32.6	30.6
都島区	87	40	180	307	28.4	13.0	58.6
福島区	104	44	150	298	34.8	14.7	50.5
此花区	3,146	1,155	109	4,410	71.3	26.2	2.5
中央区	173	59	552	784	22.1	7.5	70.3
西区	217	158	203	579	37.5	27.3	35.1
港区	245	132	667	1,043	23.4	12.6	63.9
大正区	2,107	423	180	2,710	77.7	15.6	6.7
天王寺区	15	25	187	227	6.5	10.9	82.5
浪速区	90	41	307	438	20.6	9.3	70.1
西淀川区	2,186	1,049	657	3,891	56.2	27.0	16.9
淀川区	1,574	1,468	394	3,437	45.8	42.7	11.5
東淀川区	1,079	222	393	1,693	63.7	13.1	23.2
東成区	465	263	341	1,069	43.5	24.6	31.9
生野区	1,332	260	490	2,082	64.0	12.5	23.5
旭区	139	42	80	261	53.4	15.9	30.7
城東区	586	209	420	1,215	48.2	17.2	34.6
鶴見区	1,418	228	188	1,834	77.3	12.4	10.3
阿倍野区	58	57	131	246	23.5	23.2	53.2
住之江区	850	1,683	476	3,010	28.3	55.9	15.8
住吉区	11	0	84	95	11.8	0.0	88.2
東住吉区	131	59	247	437	29.9	13.5	56.6
平野区	956	648	426	2,030	47.1	31.9	21.0
西成区	382	254	118	754	50.7	33.7	15.7

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス活動調査 産業別集計(製造業)」)

(注)1. 各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

2. 対象は従業者数4人以上の事業所。 3. 2020年1月から12月までの値を使用する為、表題を2020年とした。

産業分類の詳細

<基礎素材型>木材・木製品、パルプ・紙・紙加工品、化学工業、石油製品・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属、金属製品

<加工組立型>はん用機器、生産用機器、業務用機器、電子部品・デバイス・電子回路、電気機器、情報通信機器、輸送用機器

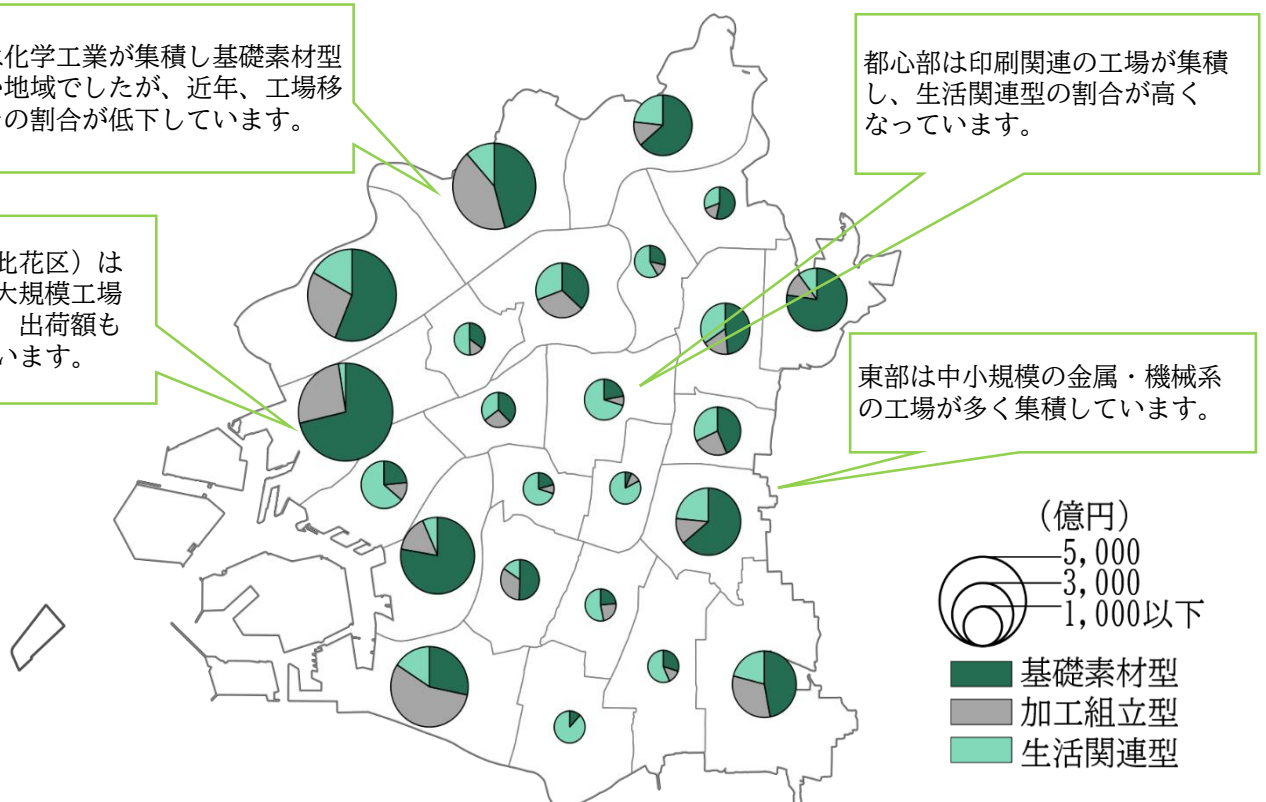
<生活関連型>食料品、飲料・たばこ・飼料、繊維、家具・装備品、印刷・同関連、なめし革・毛皮、その他

淀川北岸部は化学工業が集積し基礎素材型の割合が高い地域でしたが、近年、工場移転等によりその割合が低下しています。

都心部は印刷関連の工場が集積し、生活関連型の割合が高くなっています。

西部臨海部（此花区）は基礎素材型の大規模工場の立地が多く、出荷額も大きくなっています。

東部は中小規模の金属・機械系の工場が多く集積しています。



7-12. 卸売業における事業所数等の地域別シェア【2021年】

卸売業における地域別シェアをみると、都心部の中でも都心3区（中央区、北区、西区）に事業所数、従業者数、年間商品販売額が集中しています。

卸売業における事業所数・従業者数・年間販売額における地域別シェア（2021年）

（単位：カ所、人、百万円、%）

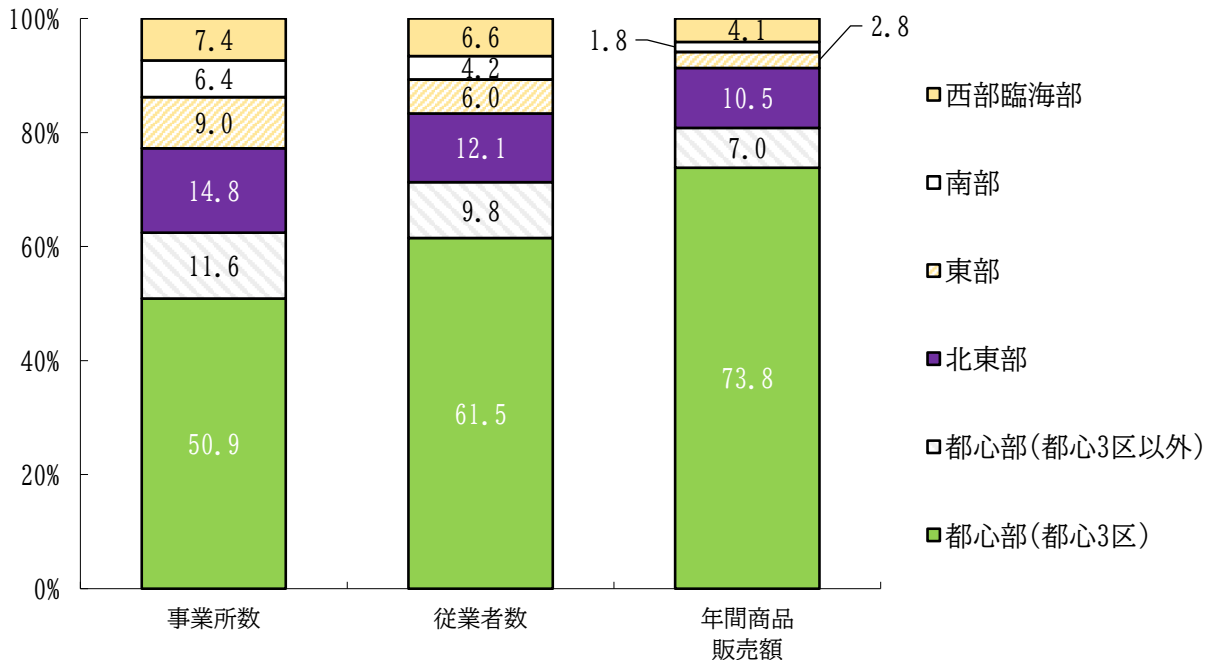
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	シェア		
				事業所数	従業者数	年間商品販売額
大阪市合計	21,580	311,168	35,600,294	100.0	100.0	100.0
都心部	北区	2,746	57,345	50.9	61.5	73.8
	中央区	5,750	97,182			
	西区	2,485	36,771			
	天王寺区	593	5,715	11.6	9.8	7.0
	福島区	965	13,783			
	浪速区	939	10,958			
北東部	都島区	349	3,148	14.8	12.1	10.5
	淀川区	2,036	25,386			
	東淀川区	375	4,756			
	旭区	190	1,620			
	鶴見区	244	2,607			
東部	城東区	371	3,670	9.0	6.0	2.8
	東成区	541	5,941			
	生野区	517	3,342			
	平野区	506	5,564			
南部	阿倍野区	325	3,461	6.4	4.2	1.8
	住吉区	267	2,054			
	東住吉区	521	5,185			
	西成区	266	2,216			
西部臨海部	西淀川区	352	5,806	7.4	6.6	4.1
	此花区	180	2,084			
	港区	343	3,221			
	大正区	282	2,544			
	住之江区	437	6,809			

（総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査」）

（注）事業所数と従業者数は2021年6月1日現在（経済センサス活動調査の産業横断的集計）

年間商品販売額は2020年の数値（経済センサス活動調査の産業別集計）

章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



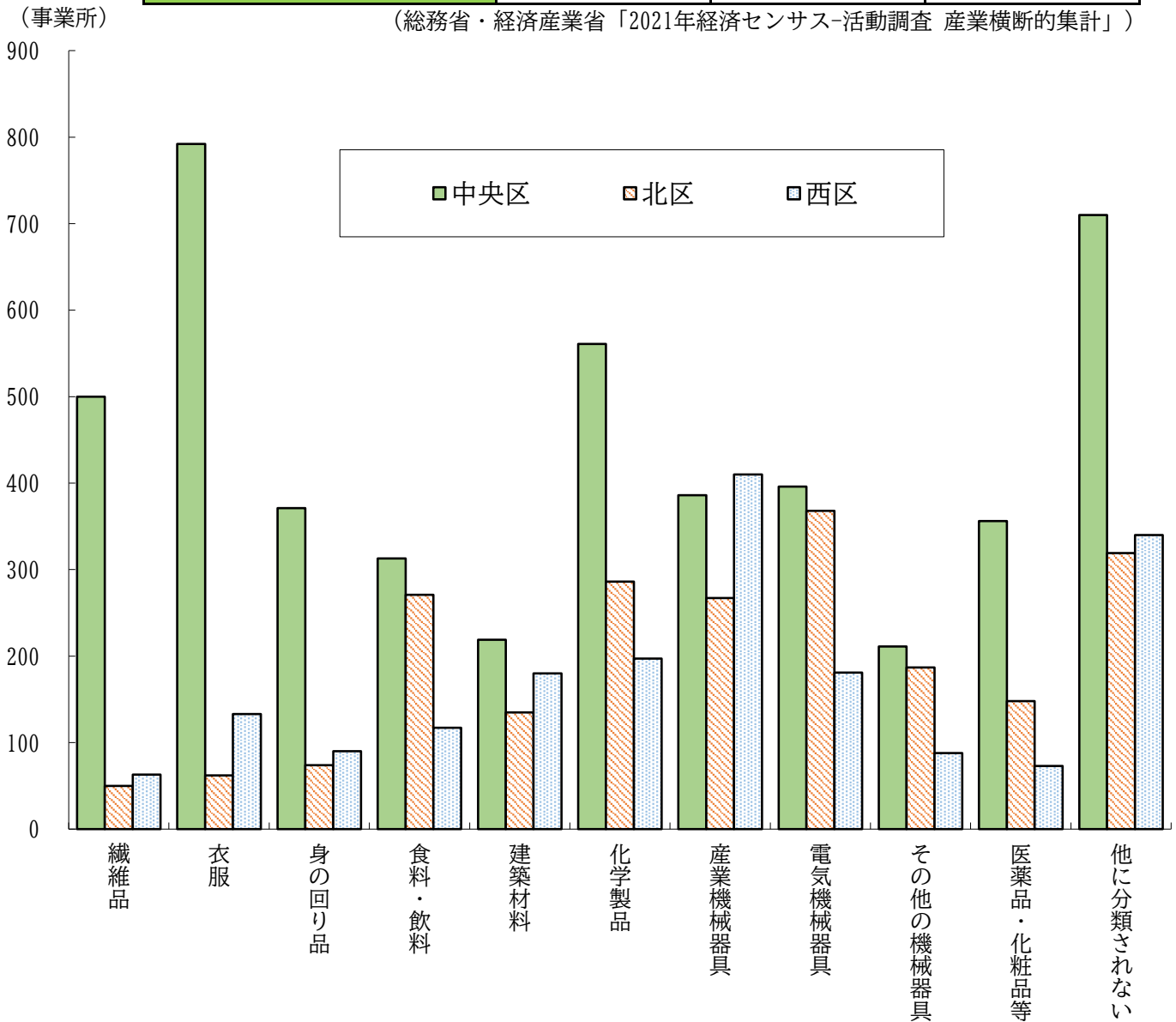
7-13. 都心3区における商品（卸売）別の事業所数【2021年】

都心3区（北区、中央区、西区）における商品（卸売）別の事業所数をみると、中央区では衣服が突出して多く、次いで化学製品、繊維品などが多くっており、北区では電気機械器具、化学製品など、西区では産業機械器具がそれぞれ多くなっています。

(単位：事業所)

産業（小分類）	中央区	北区	西区
繊維品	500	50	63
衣服	792	62	133
身の回り品	371	74	90
食料・飲料	313	271	117
建築材料	219	135	180
化学製品	561	286	197
産業機械器具	386	267	410
電気機械器具	396	368	181
その他の機械器具	211	187	88
医薬品・化粧品等	356	148	73
他に分類されない	710	319	340

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)



(注) 商品分類のうち、各種商品卸売業、農畜産物・水産物、石油・鉱物、鉄鋼製品、非鉄金属、再生資源、自動車、家具・建具・じゅう器、紙・紙製品を除いて作成。管理補助的経済活動を行う事業所は含まない。

7-14. 小売業における産業中分類別事業所数(地域別)【2021年】

小売業について、地域別事業所数を業種別にみると「織物・衣服・身の回り品小売業」及び「その他の小売業（医薬品・化粧品、書籍・文房具、スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器など）」は、交通利便性の高い都心部に集中しています。飲食料品小売業や機械器具小売業では地域間の差はそれほど大きくありません。

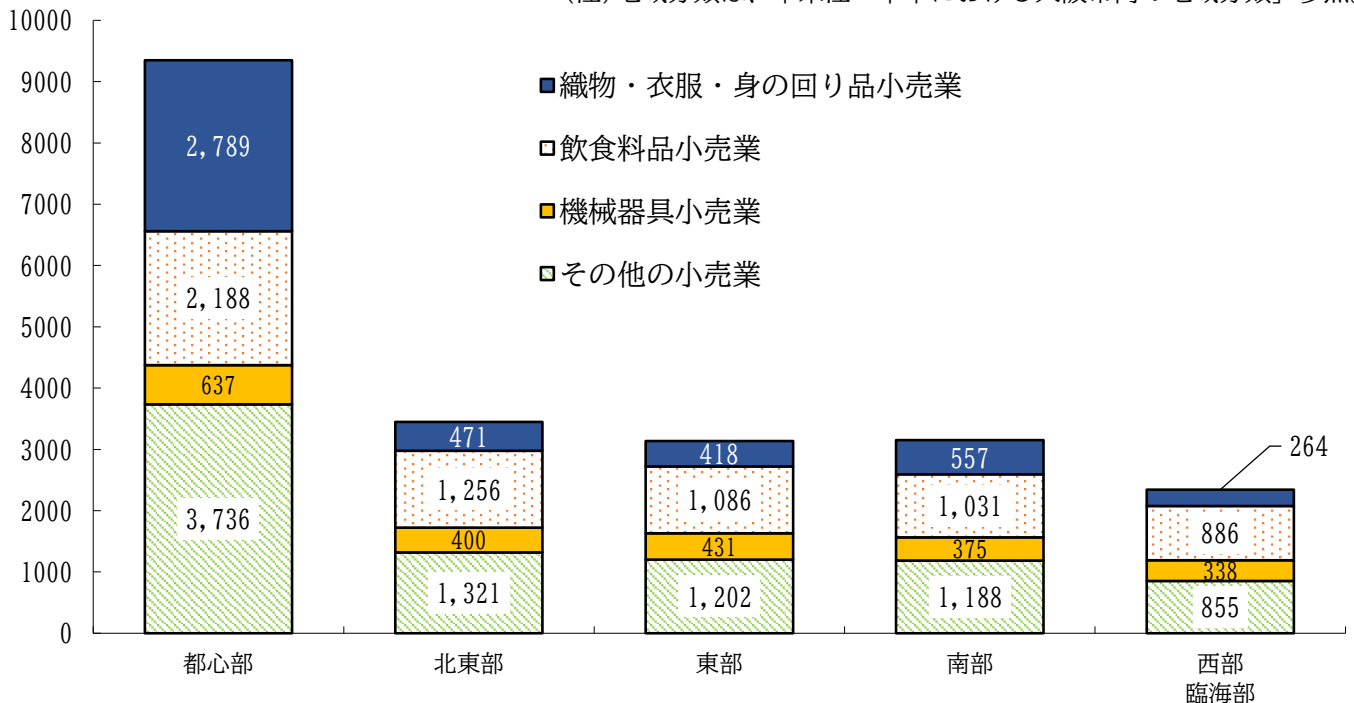
(単位：事業所)

		織物・衣服・身の回り品小売業		飲食料品小売業		機械器具小売業		その他の小売業	
大阪市合計		4,499		6,447		2,181		8,302	
都心部	北区	1,079	2,789	689	2,188	129	637	1,205	3,736
	中央区	1,108		699		142		1,315	
	西区	211		250		96		355	
	天王寺区	215		221		61		336	
	福島区	54		174		54		196	
	浪速区	122		155		155		329	
北東部	都島区	116	471	208	1,256	62	400	268	1,321
	淀川区	109		452		114		399	
	東淀川区	61		241		78		237	
	旭区	83		193		61		209	
	鶴見区	102		162		85		208	
東部	城東区	66	418	198	1,086	80	431	265	1,202
	東成区	135		205		84		226	
	生野区	114		365		117		341	
	平野区	103		318		150		370	
南部	阿倍野区	262	557	286	1,031	82	375	367	1,188
	住吉区	80		230		87		283	
	東住吉区	120		269		117		261	
	西成区	95		246		89		277	
西部臨海部	西淀川区	35	264	163	886	79	338	150	855
	此花区	32		143		36		113	
	港区	57		182		67		179	
	大正区	48		150		56		147	
	住之江区	92		248		100		266	

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」)

(注)地域分類は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

(事業所)



7-15. 小売業の従業者1人当たり年間販売額及び売場効率(地域別)【2021年】

小売業について、従業者一人あたりの年間販売額と売場効率(売場面積あたりの年間販売額)を地域別に比較すると、都心部で販売額・効率ともに高くなっている一方で、それ以外の地域では、大きな差はみられません。

(単位：人、百万円、㎡)

(単位：百万円)

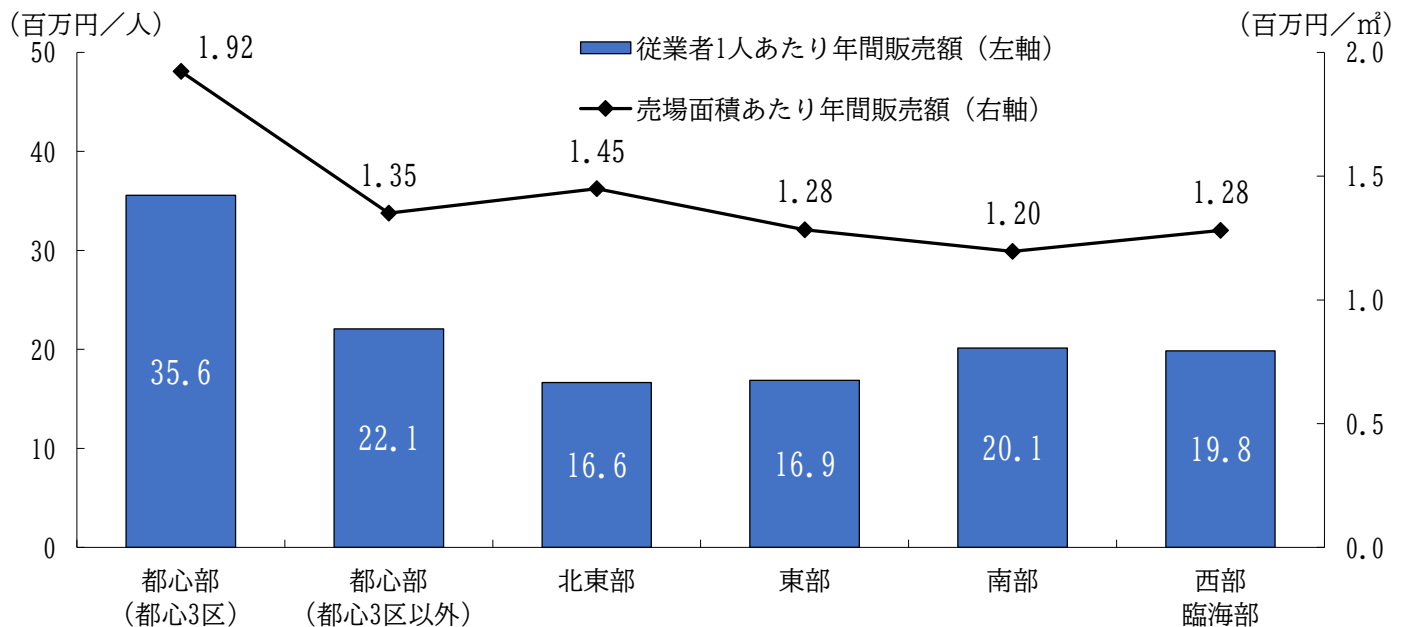
区名	従業者数	年間商品販売額	売場面積	従業者1人あたり年間販売額	売場面積1㎡あたり年間販売額
大阪市	167,428	4,127,135	2,642,611	24.7	1.56
都心部	北区	25,810	940,343	36.4	1.84
	中央区	24,780	939,513	37.9	1.97
	西区	7,994	203,642	25.5	2.14
	天王寺区	6,240	115,039	18.4	1.14
	福島区	4,471	87,845	19.6	1.87
	浪速区	6,131	168,604	27.5	1.33
北東部	都島区	5,266	99,416	18.9	1.36
	淀川区	10,286	169,247	16.5	2.01
	東淀川区	6,047	93,464	15.5	1.39
	旭区	3,772	51,651	13.7	1.41
	鶴見区	5,245	95,785	18.3	1.06
東部	城東区	5,198	84,305	16.2	1.13
	東成区	3,453	57,370	16.6	1.63
	生野区	4,806	80,649	16.8	1.64
	平野区	7,512	131,378	17.5	1.13
南部	阿倍野区	8,660	229,024	26.4	1.02
	住吉区	5,244	75,477	14.4	1.47
	東住吉区	4,464	76,671	17.2	1.72
	西成区	4,603	81,499	17.7	1.22
西部臨海部	西淀川区	3,701	72,832	19.7	1.22
	此花区	2,137	60,707	28.4	2.23
	港区	3,575	68,117	19.1	1.83
	大正区	2,875	49,589	17.2	0.93
	住之江区	5,158	94,967	18.4	1.02

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業別集計(卸売業、小売業)」)

(注)従業者数は2021年6月1日現在、販売額は2020年の数値。

従業者数には「臨時雇用者」は含めていない。

地域分類は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

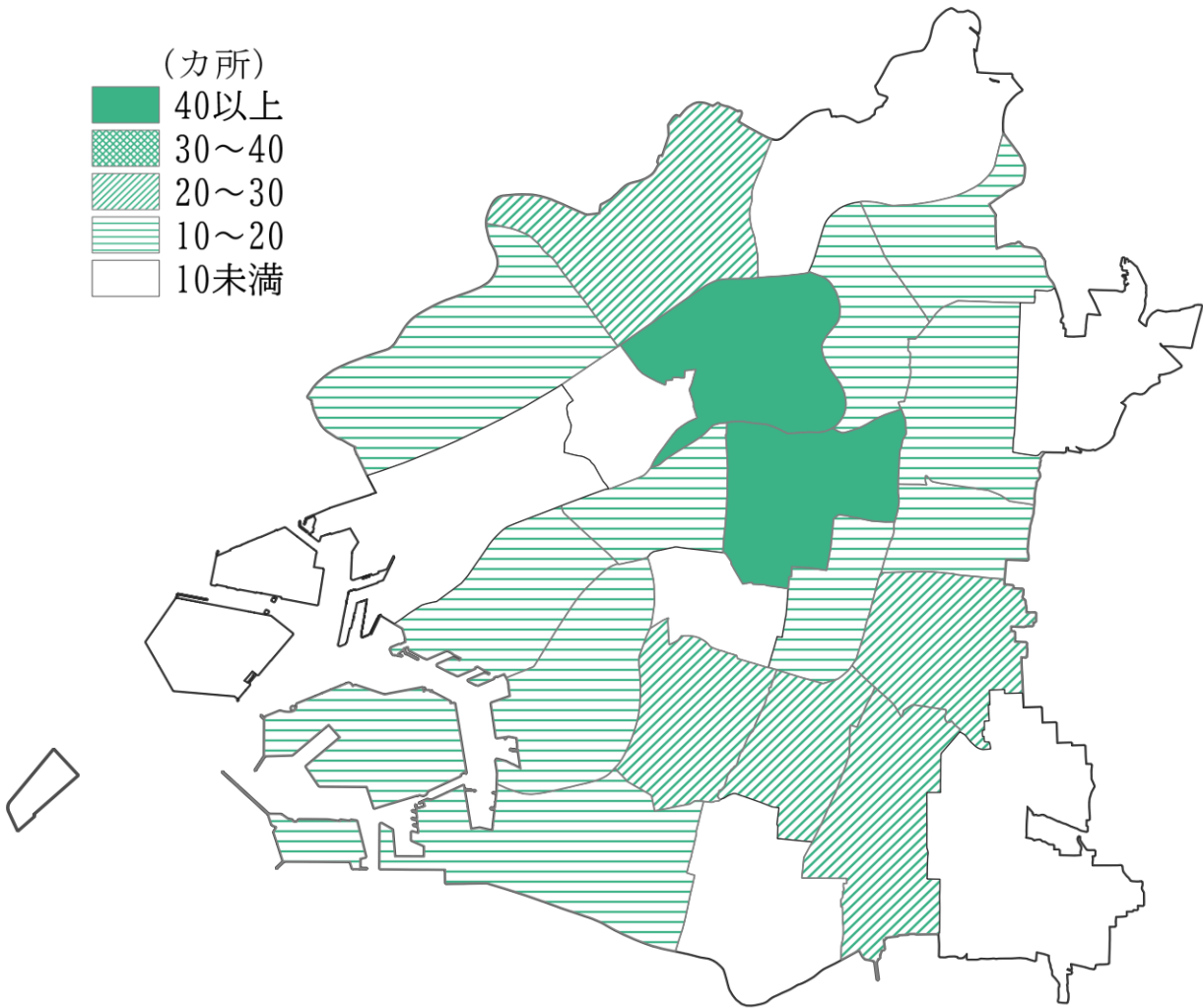


7-16. 区別商店街数【2023年度】

大阪市内の商店街数は2023年度末時点で428ヵ所となり、区別にみると中央区が66ヵ所と市内で最も多く、次いで北区、西成区の順となっています。

		(単位：ヵ所)	
区名	商店街数	区名	商店街数
大阪市	428	東淀川区	9
北区	53	東成区	19
都島区	19	生野区	25
福島区	9	旭区	14
此花区	8	城東区	11
中央区	66	鶴見区	5
西区	12	阿倍野区	22
港区	11	住之江区	15
大正区	12	住吉区	9
天王寺区	12	東住吉区	25
浪速区	8	平野区	5
西淀川区	10	西成区	29
淀川区	20		

(注)2023年度末の数字。
各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



7-17. ビジネス支援型サービス業の区別従業者数【2021年】

ビジネス支援型サービス業の従業者数について区別にみると、企業の本社等が集積する都心部（北区、中央区）で多くなっています。

（単位：人）

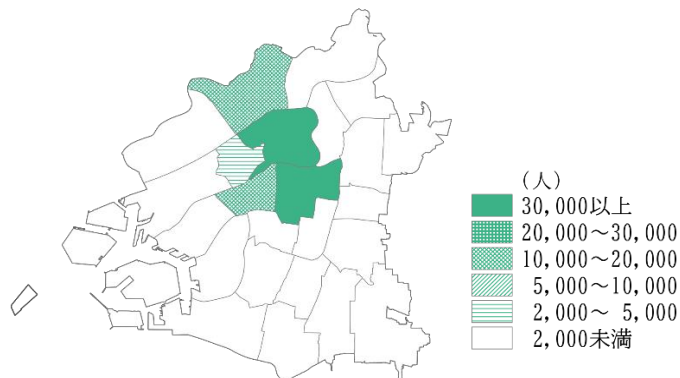
区名		情報サービス業	映像・音声・文字情報制作業	専門サービス業(他に分類されないもの)	広告業
大阪市		102,564	16,437	61,513	11,982
都心部	北区	31,453	7,532	22,488	5,598
	中央区	35,035	3,636	22,151	2,477
	西区	12,159	1,576	3,669	1,365
	天王寺区	351	359	2,266	598
	福島区	2,433	817	742	182
	浪速区	1,437	1,011	912	222
北東部	都島区	588	218	787	103
	淀川区	14,388	420	4,178	925
	東淀川区	381	81	341	79
	旭区	99	6	178	9
	鶴見区	37	10	56	52
東部	城東区	241	234	416	22
	東成区	145	130	290	72
	生野区	59	37	205	-
	平野区	59	7	357	54
南部	阿倍野区	179	36	852	36
	住吉区	95	138	355	26
	東住吉区	47	57	387	14
	西成区	54	25	122	63
西部臨海部	西淀川区	423	38	164	39
	此花区	404	24	102	-
	港区	1,282	14	142	10
	大正区	46	12	76	7
	住之江区	1,169	19	277	29

（総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査 産業横断的集計」）

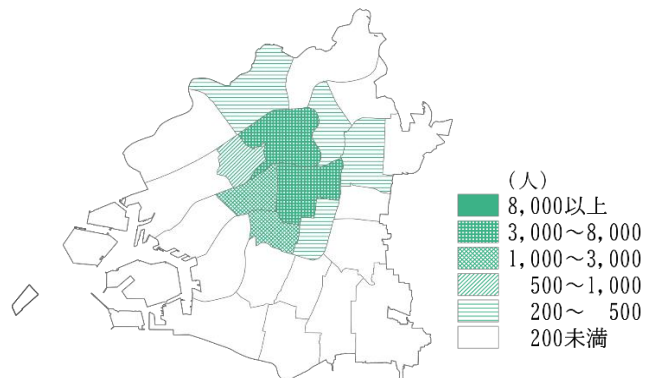
（注）サービス業の範囲については、章末注「本章におけるサービス業の分類と定義」参照。

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

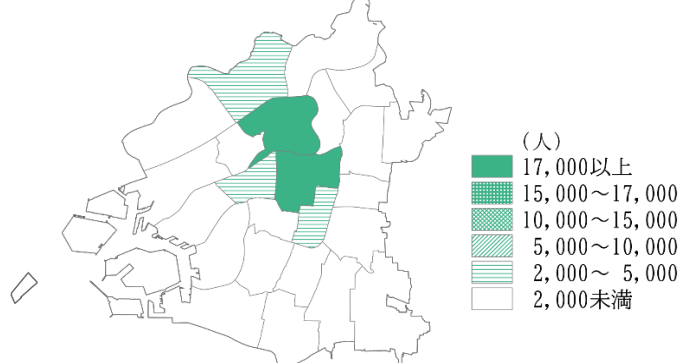
情報サービス業の区別従業者数



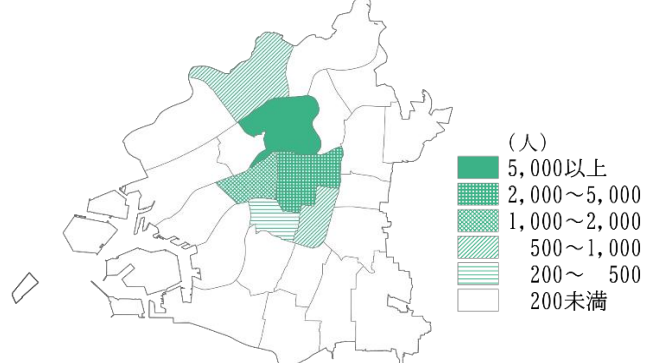
映像・音声・文字情報制作業の区別従業者数



専門サービス業の区別従業者数



広告業の区別従業者数



7-18. 生活支援型サービス業の区別従業者数(人口100人当たり)【2023年】

生活支援型サービス業について区別にみると、娯楽業などの一部の業種を除いて、都心部に集中せず、概ね市域全体で事業展開している点がビジネス支援型サービス業と異なっています。娯楽業は都心部に加えて、大型テーマパークが立地する此花区の従業者数が多くなっています。

(単位：人)

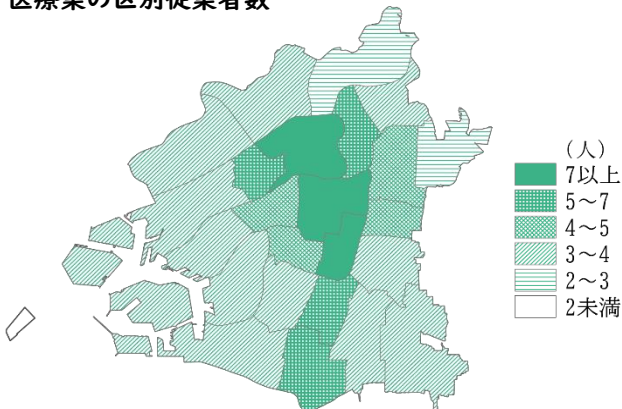
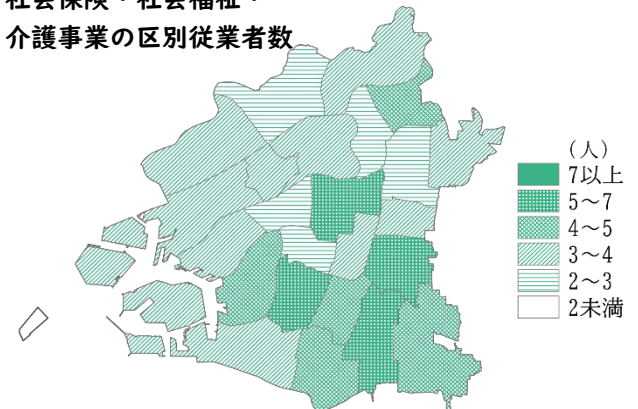
区名		医療業	社会保険・社会福祉・介護事業	娯楽業	飲食店	人口
大阪市		4.59	3.85	0.95	5.36	2,770,520
都心部	北区	9.95	3.98	3.12	26.89	145,226
	中央区	10.00	5.69	3.60	27.38	113,954
	西区	4.56	2.95	0.60	6.26	110,780
	天王寺区	9.00	3.80	0.99	7.42	85,291
	福島区	5.89	3.21	0.58	5.92	81,975
	浪速区	4.07	2.70	1.29	5.67	81,855
北東部	都島区	5.72	2.53	0.59	4.53	108,441
	淀川区	3.07	2.75	0.62	4.29	185,709
	東淀川区	2.65	3.49	0.41	1.97	176,134
	旭区	3.24	4.58	0.25	1.82	89,200
	鶴見区	2.56	3.13	0.35	2.54	111,533
東部	城東区	4.05	2.74	0.36	1.58	167,409
	東成区	4.53	3.86	0.43	2.54	85,871
	生野区	3.73	5.00	0.22	2.06	126,789
	平野区	3.15	4.14	0.36	1.82	186,843
南部	阿倍野区	6.35	4.03	0.78	5.26	111,565
	住吉区	5.11	4.50	0.23	1.80	152,088
	東住吉区	3.56	5.77	0.27	2.04	127,880
	西成区	3.32	5.92	0.49	2.34	105,782
西部臨海部	西淀川区	3.68	3.17	0.18	1.71	95,865
	此花区	3.04	3.15	7.15	3.42	64,050
	港区	3.07	3.59	0.44	2.54	79,656
	大正区	3.42	4.27	0.17	2.27	59,465
	住之江区	3.51	3.51	1.99	2.49	117,159

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス活動調査 産業横断的集計」、大阪市「2023年推計人口」)

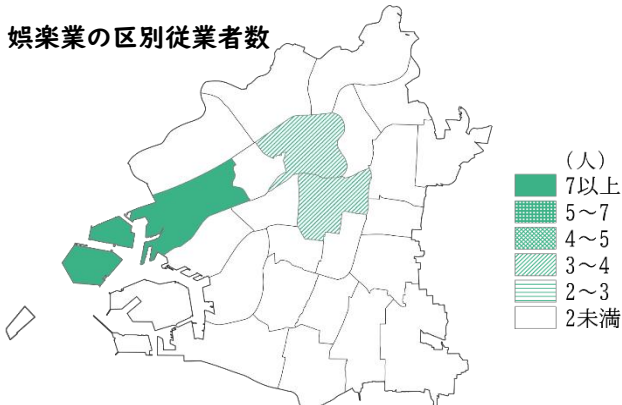
(注)人口は2023年10月1日現在。サービス業の範囲については、章末注「本章におけるサービス業の分類と定義」参照。

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

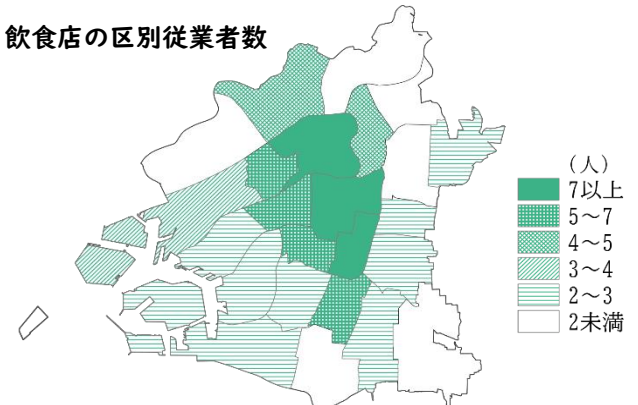
医療業の区別従業者数

社会保険・社会福祉・
介護事業の区別従業者数

娯楽業の区別従業者数



飲食店の区別従業者数



7-19. ホテル・旅館等及び民泊施設の区別立地状況【2024年】

大阪市内のホテル・旅館等は、交通の利便性が高く商業施設が多く立地する中央区、北区、浪速区に多く所在しています。前年と比べると西区、天王寺区、淀川区、住吉区、住之江区の5区で減少しましたが、中央区、西成区、浪花区、北区など12区で増加となり全体で53ヵ所の増加となりました。

民泊施設は西成区、浪速区、中央区に比較的多く所在しています。前年と比べると全体で1,574ヵ所の増加で、特に西成区は439ヵ所、浪速区、中央区は、200ヵ所以上の増加となりました。

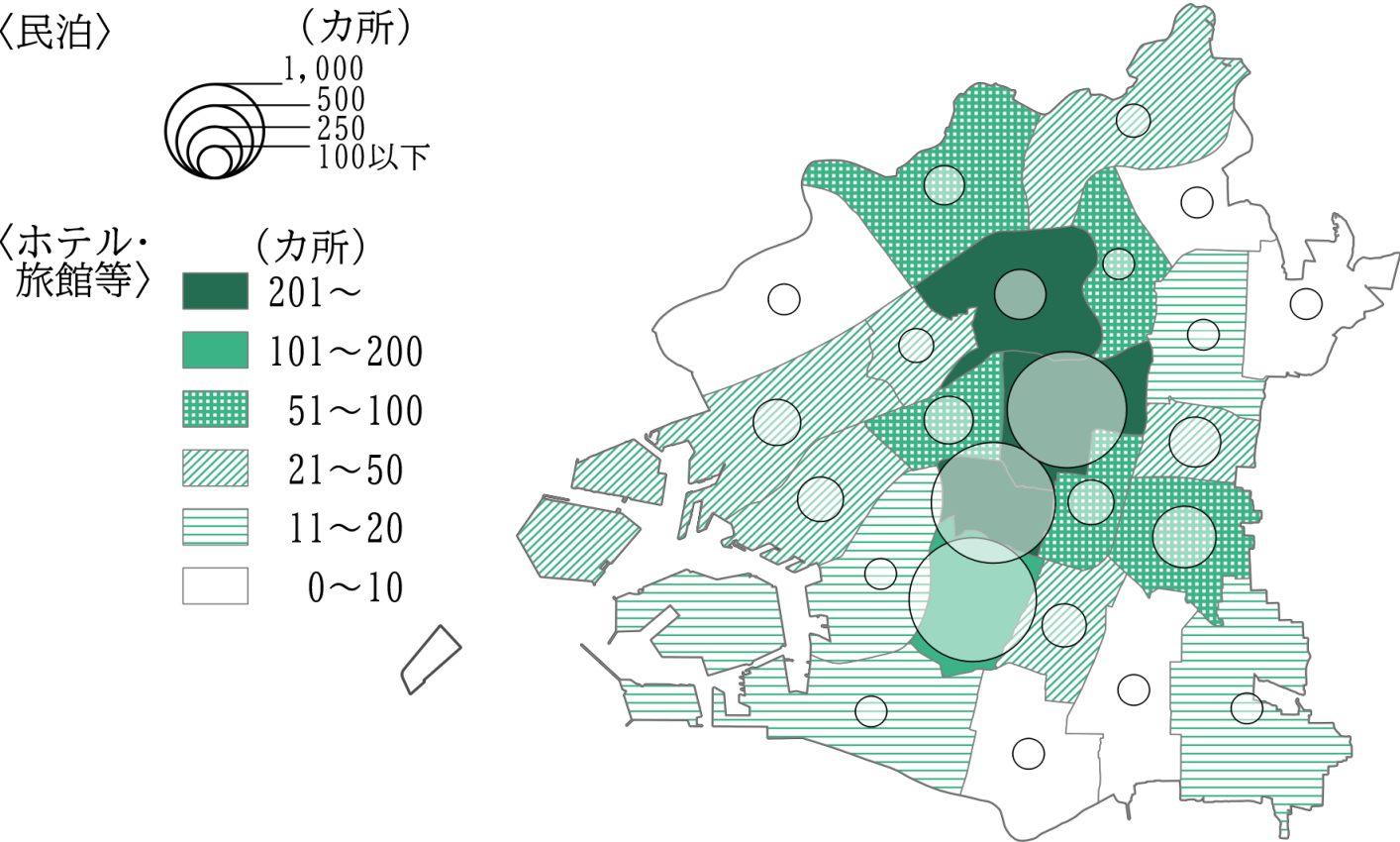
(単位：ヵ所)		
区名	ホテル・旅館等	民泊
大阪市全体	1,765	7,306
北区	241	256
都島区	64	91
福島区	25	120
此花区	42	216
中央区	499	1,369
西区	61	234
港区	42	205
大正区	17	79
天王寺区	86	202
浪速区	233	1,480
西淀川区	8	58
淀川区	86	157

区名	ホテル・旅館等	民泊
東淀川区	22	113
東成区	35	251
生野区	53	387
旭区	3	77
城東区	11	83
鶴見区	1	2
阿倍野区	26	187
住之江区	11	90
住吉区	9	58
東住吉区	5	31
平野区	12	20
西成区	173	1,540

(大阪市ホームページ「旅館業施設一覧」「特区民泊施設一覧」「住宅宿泊事業法に基づく届出住宅一覧」2024年12月31日時点)

(注) ホテル・旅館等は旅館業法の許可を受けた施設、民泊施設は国家戦略特別区域法に基づく外国人滞在施設経営事業(特区民泊)の認定を受けた施設、及び住宅宿泊事業法に基づく届出を行った施設。

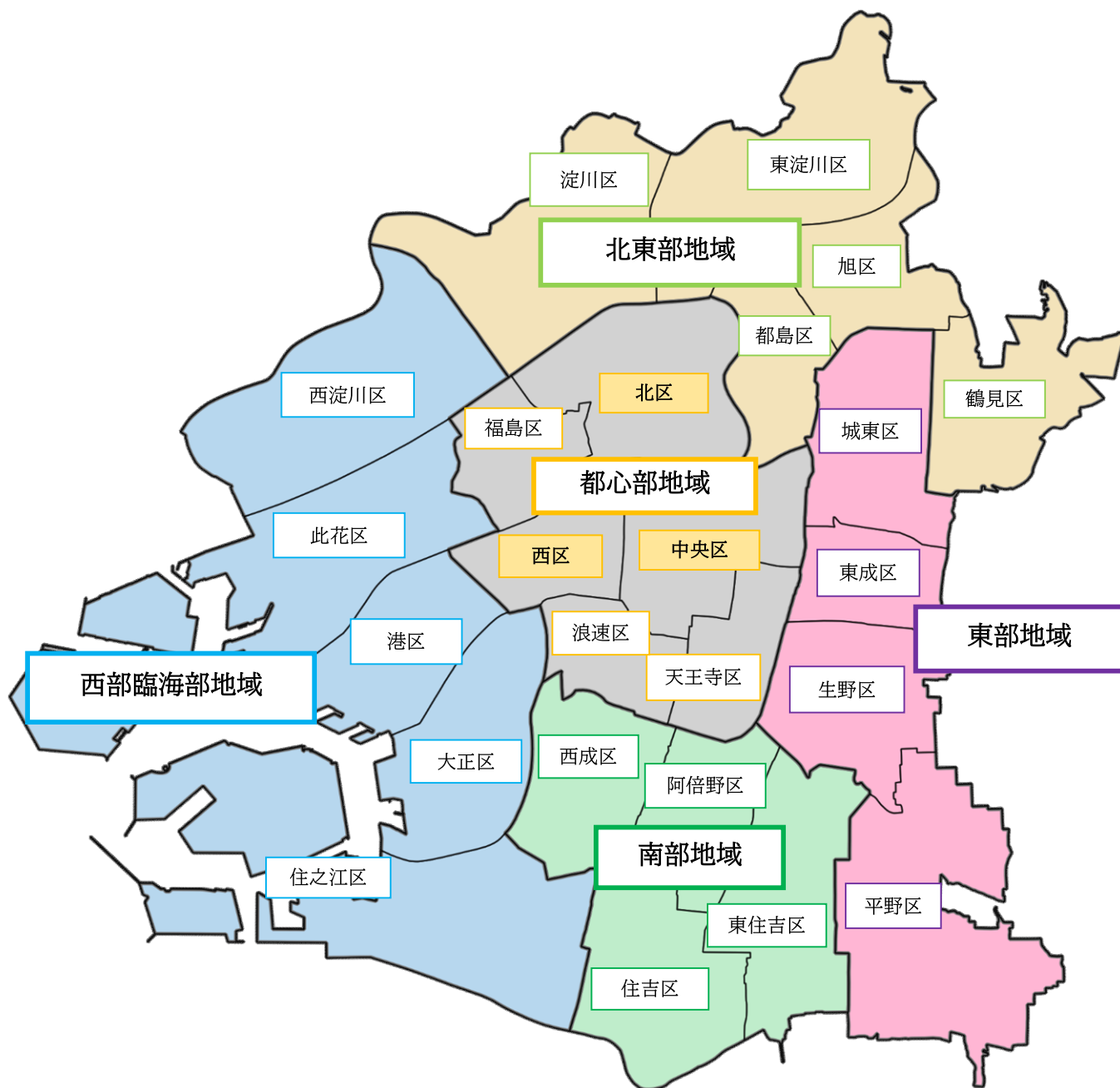
各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



【章末注】本章における大阪市内の地域分類

本章における大阪市内の地域分類は、特に断りのない限り、下図の分類による。
また、都心部のうち、北区、中央区、西区を都心3区とする

図：大阪市内地域分類



【章末注】本章におけるサービス業の分類と定義

本章7-17の「ビジネス支援型サービス業」及び7-18の「生活支援型サービス業」は「経済センサスー活動調査」の分類に基づき下表の通りとした。

	大分類項目	中分類項目
ビジネス支援型サービス業	G 情報通信業	39 情報サービス業
		41 映像・音声・文字情報制作業
	L 学術研究，専門・技術サービス業	72 専門サービス業(他に分類されないもの)
		73 広告業
生活支援型サービス業	M 宿泊業、飲食サービス業	76 飲食店
	N 生活関連サービス業，娯楽業	80 娯楽業
	P 医療、福祉	83 医療業
		85 社会保険、社会福祉・介護事業